

**県立高等技術専門校の整備のあり方の検討に係る
宮城県職業能力開発審議会（第3回目）議事概要
※令和元年度第3回宮城県職業能力開発審議会として開催**

日 時：令和2年2月20日（木）午後1時30分から午後3時30分まで

場 所：宮城県行政庁舎9階 第一会議室

出席委員：田邊会長，大泉委員，大久委員，齋藤委員，小野委員，熊谷委員，後藤委員，
井上委員，谷垣委員，野口委員，渡辺委員，大窪特別委員（全委員出席）

概 要：

前回までの会議で出された意見をベースに作成した答申素案について議論を行い，将来的な高等技術専門校の校数や配置などについて，どのように答申に反映させるべきかについて検討が行われた。答申素案に対する主な意見等は以下のとおり。

- ・これからの若者にワクワク感を持って進路選択してもらえるようにして欲しい。
- ・新しい時代に合った設備などを揃えて最先端のことを学べるようにして欲しい。
- ・職業訓練機関それぞれの強みや特徴を踏まえながら，職業能力開発分野における適切な役割分担を行って欲しい。
- ・授業料は無償化して欲しい。
- ・集約に当たっては20年後まで見据え，思い切った大改革が必要である。他県のモデルとなるような高技専にして欲しい。
- ・県全体の技術のレベルを上げるための高技専であれば仙台にこだわる必要はない。
- ・特定自治体のための施設ではなく，県全体としてのあり方を考えるべき。
- ・集約することにより，予算の重点配分，手厚い指導が可能となるなどのメリットが生まれ，充実した訓練が可能となるのではないか。
- ・統廃合により遠距離の通学となる者に対しては，一定の配慮を行うことが必要である（スクールバスの運行，アパート家賃の補助など）。
- ・アンケートを実施して，訓練生の声を取り入れることが必要ではないか。
- ・指導員の配置を工夫し指導の更なる充実を図って欲しい。
- ・建物の状況から，抜本的な対策を行う時期が過ぎつつある。

以上の意見等を反映した答申案を作成し，次回の会議で審議することとされた。